

# 万華鏡

甲府商業高校 図書室  
令和8年7月  
NO. 3



## 新着本紹介

もうすぐ夏休みです。目標に向かい有意義な時間を過ごすと共に、この機会に読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。

夏休み中も図書室は開館しています。開館日・開館時間などを確認してご利用ください。



### \* 夏休み図書館開館日 \*

7月・8月 (色つきの日は閉館日 予定は変更することもあります。)

日	月	火	水	木	金	土
					7/24	25
26	27	28	29	30	31	8/1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11 (山の日)	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24 (始業式)					

\* 開館時間は9時30分~12時までとなります \*

### ★夏休み特別貸出実施!

貸出開始：7月6日(月)~  
貸出冊数：1人5冊  
返却期限：8月28日(金)



### 第72回青少年読書感想文全国コンクール

課題図書が届いています。  
夏休みの読書の参考にしてください。



『スイッチュ!』	藤ノ木優/著
『ノアハム・ガーデンズの家』	ペネロピ・ライヴリー/著 斎藤倫子/訳
『平和のうぶごえ』『原爆の子』として生きた80年	早志百合子/著

『スイッチュ!』 藤ノ木優/著 徳間書店  
書籍紹介：自分にもっと新しい可能性がある。運動が苦手なキャプテンと骨折したエース。ふたりの絆が奇跡を起こす、青春バスケット小説。

『ノアハム・ガーデンズの家』 ペネロピ・ライヴリー/著 斎藤倫子(訳) ゴブリン書房  
書籍紹介：1970年夏のオックスフォード。古い家に大叔母と暮らすクレアは、物置で見つけた異国の桶をきっかけに、奇妙な夢をみるように……。

『平和のうぶごえ』『原爆の子』として生きた80年 早志百合子/著 紀伊國屋書店  
書籍紹介：世界中で読み継がれる、広島の子供たちの体験手記『原爆の子』。最晩年を迎えたその執筆者らがいま伝えたいこと。

- ★『憤怒の人』 杉山響子/著 小学館
  - ★『ギアをあげて、風を鳴らして』 平石さなぎ/著 集英社
  - ★『新聞のススめ』 高井宏章/著 星海社
  - ★『マリコは国宝を観た!!』 林真理子/著 文藝春秋
  - ★『エデンの裏庭』 吉田篤弘/著 岩波書店
  - ★『外の世界の話聞かせて』 江國香織/著 集英社
  - ★『はるを呼ぶ』 実石沙枝子/著 ポプラ社
  - ★『すべてが円くなるように』 原田マハ/著 幻冬舎
  - ★『〈自分〉を知りたい君たちへ』 養老孟司/著 毎日新聞出版
  - ★『中高生のための人生論ノート』 小川仁志/著 ミネルヴァ書房
  - ★『父へ母へ。100万回の「ありがとう」』 PHP 編集部「編」 PHP 研究所
- など……

### 司書教諭の独り言 ②

本を読むと、どんないいことがあるのだろうか。  
今村翔吾という小説家がいる。ダンスのインストラクターから作家になった人だ。彼は、小説を書きつつ、書店を経営している。そんな今村は、読書の効用について、次のように言う。  
人生は、 $y=ax$  と例えられる(一次関数ですね)。読書をすると自頭が鍛えられ、この式の「a」が大きくなる。すると、同じ知識・同じ経験を「x」に代入しても、読書をする人は「a」が大きいので、「y」の値が大きくなるというのだ。つまり、読書をすると、よりよい人生を送ることができる、というのだ。「(読書は)無駄なように見えて、無駄ではない。遠回りのようでいて、結局は近道になる」。あなたは、今村のこの説をどう思いますか?

今村翔吾『書店を守れ!』(祥伝社新書)

☆この夏休みに新しい本にもチャレンジしてみてください。